

## 協議会・研究会・その他報告

(二〇一五年一月～十二月・敬称略)

### (1) 全国大学史資料協議会

□西日本部会二〇一五年度総会・第一回研究会

開催日 二〇一五年五月二十日(水)

場所 大阪工業大学(大宮キャンパス) OITホール

出席者 二十四大学三十二名、個人三名

参加 橋爪麻衣、西口忠

〔講演〕

岸下隆雄(常翔学園渉外課)「一周50歩のなかから生まれる歴史観」

〔見学〕

常翔歴史館

二〇一四年五月にオープンしたばかりの、常翔学園の新しい施設を見せていただくことが一番の目的である。学園の傘下の学校が多く、学校のルーツもさまざまであるため、常翔歴史館ではモニターやタッチパネルを駆使するなど、見学者を飽きさせずに十分な情報を提供する工夫が凝らされている。見学に先立ち、常翔歴史館の開設に尽力された岸下氏より、立ち上げの苦労話やこれからの課題などを織り交ぜ、歴史館の特徴と目的を解説していただいた。

□西日本部会二〇一四年度第二回研究会

日時 二〇一五年七月二十二日(水)

場所 和歌山大学附属図書館、紀州経済史文化史研究所

出席者 十七大学二十四名、個人二名、会員外三名

参加 橋爪麻衣、西口忠

〔講演〕

①渡部幹雄(和歌山大学附属図書館)「自校史作業部会の経過と活動内容」

②吉村旭輝(和歌山大学紀州経済史文化史研究所)「紀州

研の師範学校資料」

〔見学〕

和歌山大学大学史展示室・紀州経済史文化史研究所（事務室および展示室）・和歌山大学附属図書館

大学史展示室を三月に開設した和歌山大学での研究会は、あいにくの天候であったが、さまざまな施設をたつぷりと見学させていただいた。大学の歴史に関係する資料を適切に管理するための環境整備について、また通称「紀州研」の持つ特徴的な資料について紹介していただく中で、地方の国立大学が持つ独特の立場と、それに伴う資料保存に関するご苦勞を窺い知る機会となった。

□全国大学史資料協議会二〇一五年度総会ならびに全国研究会（西日本部会二〇一五年度第三回研究会）

開催日 二〇一五年十月七日（水）～九日（金）  
会場 総会・講演会（七日）

東北大学片平キャンパス 片平さくらホール

2階会議室

全国研究会（八日）

東北学院大学土樋キャンパス 8号館

押川記念ホール

見学会（九日）

東北大学片平キャンパス、仙台市博物館

出席者

東日本 二十八機関 個人五十三名 会員外二名  
西日本 二十大学二十五名 個人五名

参加 橋爪麻衣、西口忠、玉置榮二

・七日（水）

〔講演〕

大平 聡（宮城学院女子大学人間文化学科教授）「学校資料の保存と活用」

〔展示会報告〕

永田 英明（東北大学史料館）「東北大学・東北学院連携展示について」

〔見学〕

東北大学史料館

・八日（木）

「二〇一五年度全国研究会」

テーマ「戦後70年」と大学史資料

①西晃祐（東北学院史資料センター）「地域・軍隊・学校  
資料―学都仙台と東北学院」

②折田悦郎（九州大学大学文書館）「戦後70年」と大学  
史資料―九州帝国大学の学徒出陣―

③都倉武之（慶應義塾福澤研究センター）「慶應義塾と戦  
争」を巡る資料と研究」

〔総括討論〕

・九日（金）

〔見学会〕

東北大学片平キャンパス、仙台市博物館（資料レスキュー  
のレクチャーあり）、東北大学史料館

※一五〇頁に橋爪麻衣による参加記あり。

□西日本部会二〇一五年度第四回研究会

日時 二〇一五年十二月十五日（火）

場所 高島屋資料館

出席者 十九大学二十六名 個人四名

参加 岩男久仁子、橋爪麻衣、西口忠

〔講演〕

田中喜一郎（高島屋史料館）「高島屋のアーカイブズ活動  
について」

〔見学〕

高島屋史料館

西日本部会の研究会で、企業のアーカイブ施設にうかが  
うのは実に六年振りである。難波の高島屋東別館内にある  
高島屋史料館は、美術染織品を取り扱ってきた高島屋なら  
では、芸術的価値の高い資料を所蔵する。副館長の田中  
氏より、史料館の歩みとこれからについてお聞きしたのち、  
館内を案内していただいた。

## (2) 日本聖公会歴史研究会

## □第二十五回「歴史研究者の集い」

開催日 二〇一五年五月二十九日(金)～三十日(土)

場所 立教大学池袋キャンパス 第十二号館 第三・第四会議室、立教学院展示館

出席者 二十七名

参加 玉置栄二、西口忠

## 〔研究発表〕

① 民谷雅美「幕末／明治初期のクライスト・チャーチ 1860-1875」

② 諫山禎一郎「報告」

③ 太田孝子「柳原吉兵衛の日朝交流活動——朝鮮人女子教員内地視察を中心に——」

④ 大江真道「人権について 聖公会の部落問題へのかかわり」

⑤ 根谷崎武彦「The Church on Colonel's Corner」

⑥ 玉置栄二「河島敬蔵と聖公会」

⑦ 西口忠「日本聖公会の満州伝道」

## 〔見学〕

立教学院展示館

事務局を本史料室が担うことになって、二度目の研究会となった。会場が東京の立教大学ということもあり、準備段階では少々手間取ったが、立教大学の大江満氏の協力もあり何とか無事に開催することができた。参加者は予定では二十三名であったが、当日参加の方が四名もおられた。配布資料が不足するなどして参加者には迷惑をかけることになったが、事務局としては嬉しい悲鳴をあげるようになった。例年、発表内容は多岐に渡っているが、今年も二日間で七名の方から興味深い発表があった。見学は、二〇一四年五月に開館になった立教学院展示館を利用させていただいた。

### (3) 川口居留地研究会

#### □第八十三回例会

日時 二〇一五年三月二十八日(土)

場所 桃山学院カンタベリー記念館(昭和町キャンパス)

出席者 研究会 十名

懇親会 七名

#### 〔報告〕

松田瑞希「川口居留地における警察権問題 ―居留地会議  
議事録の記述を中心に―」

報告は、大阪大学を卒業されて間もない松田瑞希さんに行っていた。松田さんは、何度か本史料室に調査に来られ、それを卒業論文としてまとめられた。論文のテーマが川口居留地に関するものであったため、今回の研究会で報告していただくことをお願いしたところ、快諾していただいた。

#### □第八十四回例会(第八回外国人居留地研究会全国大会)

日時 二〇一五年一〇月三十一日(土)

場所 神戸女子大学・教育センター(三宮キャンパス)

参加 岩男久仁子、西口忠、玉置栄二

〔研究会〕テーマ「居留地の運営とその意思決定」

① 岩田隆義「万国病院の創設について」その意思決定の経緯」(神戸)

② 岸甫一「外国人居留地・箱館地所規則をめぐる居留外国人の紛争」一八六二年春 英国領事史料の検討から」

(函館)

③ 玉置栄二「大阪居留地会議議事録」と川口居留地の自治・運営」(大阪川口)

④ 鈴木康夫「外国人居留地の条約と自治権について」大阪・神戸との比較」(横浜)

研究会に先立ち、各居留地研究会の代表者による会議が行われた。川口居留地研究会からは会長の堀田暁生と事務局の玉置栄二が出席した。そこで、次年度(二〇一六

年度)の開催地と日程が決まった。開催地は函館、日程は二〇一六年十月二十二日(土)・二十三日(日)。また、二〇一七年度については、神戸で開港一五〇年記念事業が催されるため、全国大会は神戸で開催されることになった。大阪居留地も神戸と同年に開市・開港を迎えているため、全国大会は神戸外国居留地研究会と川口居留地研究会の共催とすることになった。研究会では、神戸、函館、川口、横浜の各研究会より報告があった。

#### (4) 日本英学史学会

##### □ 関西支部第五十一回支部大会

日時 二〇一五年六月六日(土)

場所 桃山学院カンタベリー記念館(昭和町キャンパス)

参加 岩男久仁子、橋爪麻衣、玉置栄二、西口忠

出席者 十一名

##### 「研究発表」

① 吉田芳輝「江戸時代のヴァイアグラ」

② 加藤詔士「グラスゴウ大学創立450周年記念式典(1961)——明治日本とグラスゴウ大学の交流——」

##### □ 関西支部第二十四回研究大会

開催日 二〇一四年八月二十九日(土)

場所 同志社大学アームストロングゲストハウス

出席者 十二名

参加 岩男久仁子、玉置栄二、西口忠

##### 「研究発表」

① 石倉和佳「徳富猪一郎旧蔵新島書簡草稿について——石川武美記念図書館所蔵品より」

② 北垣宗治・西口忠

※地理学者である金坂清則氏(京都大学名誉教授)が著したイザベラ・バード(一八三一年〜一九〇四年)に関する書籍について。

③ 小島優里「レオン・ド・ロニー研究——19世紀フランスにおける日本語教育の取り組み——」

## (5) 執筆・講演など

## □執筆

- ①キリスト教学学校教育同盟『キリスト教学学校教育』六八九号（二〇一五年十二月十五日）
- 西口忠「本田増次郎と桃山学院」

## □講演

- ①平成二十六年度泉大津市・桃山学院大学連携事業 企画展 桃山学院の歴史と文化 企画展開催記念講演会  
西口忠「桃山学院の歴史と文化」  
開催日 二〇一五年二月二十一日  
場 所 テクスピア大阪三階研修室
- ②桃山学院大学55周年記念プロジェクト& MOMOYAMA エクステンション・カレッジ「竹鶴政孝とリタ」展&サントリー山崎蒸溜所見学 スペシャルトーク  
西口忠「竹鶴政孝とリタ」展を語る」  
開催日 二〇一五年三月四日、四月十五日、四月二十一日
- ③和泉市いずみの国歴史館 平成二七年度春季特別展 記念講演会  
西口忠「桃山学院のあゆみと『マッサン』」  
開催日 二〇一五年四月十二日  
場 所 いずみの国歴史館
- ④第一〇回どっぷり、昭和町。トークイベント マッサンと桃山学院大学 基調講演・パネルトーク  
西口忠「マッサンと桃山学院」  
開催日 二〇一五年四月二十九日  
参加者 約四〇名
- ⑤西口忠「大阪聖三一教会と桃山学院の歩み、そして「マッサン」」  
開催日 二〇一五年五月十七日  
場 所 大阪聖三一教会
- ⑥桃山学院大学聖ペテロ館二階多目的室2 他  
西口忠「ジャパニーズウィスキーの父「竹鶴政孝」と国際結婚」  
開催日 二〇一五年三月二十二日  
場 所 石橋聖トマス教会

## ⑦平成二十七年年度泉大津市・桃山学院大学連携事業 第二

次世界大戦終結七〇年・日露戦争終結一〇〇年記念企画

開催日 二〇一五年九月二十六日  
場 所 ハイアットリージェンシー大阪

展・講演会「戦争が残したもの もたらししたもの」

## ・西口忠「日露戦争とキリスト教」

開催日 二〇一五年七月十八日

場 所 テクスピア大阪三階研修室

## ・玉置栄二「旧制中学校と戦争」

開催日 二〇一五年七月二十五日

場 所 テクスピア大阪三階研修室

## ⑧日本聖公会大阪教区「教会信徒のための学び」特別出前・

出張講座【歴史編】

## ・西口忠「F・ザビエルから、江戸時代末期まで」

開催日 二〇一五年七月十一日

場 所 大阪聖ヨハネ教会

## ・西口忠「川口居留地と宣教師たち」

開催日 二〇一五年十月十七日

場 所 川口基督教会

## ⑨日本聖公会京都教区 第五六回信徒の集い

西口忠「宣教師の旅」